

第8次岡山県保健医療計画(素案:パブリックコメント反映後)に基づく 地域枠卒業医師の配置方針の検討について

地域枠卒業医師を配置する保健医療圏について

現状・課題

県北の3保健医療圏(高梁・新見、真庭、津山・英田)の他、県南の2保健医療圏でも、岡山市、倉敷市及び早島町を除く12市町で人口10万人当たりの医療施設従事医師数が全国平均を下回り地域偏在が見られることから、地域の状況に応じた医師の確保が必要です。

施策の方向性

地域枠卒業医師は、県の指定業務として、県内の医師不足地域の医療機関において勤務する必要があります。今後、県北の3保健医療圏を中心に、県南の2保健医療圏も視野に入れて、地域枠卒業医師の配置を検討します。

論点整理

- ◎ 地域枠卒業医師の配置について、県南の保健医療圏にも配置した方がよいか。
- ◎ 配置するとすれば、いつから配置するのがよいか。
- ◎ 配置する場合、どのような配置方法が考えられるか。

県内の医師の診療科偏在の是正について

現状・課題

今後の更なる高齢化の進展や人口減少に対応するため、将来の医療需要を見据えながら、必要な医師確保について検討する必要があります。

人口10万人当たり医療施設従事医師数・内科医数、15歳未満人口1万人当たり小児科医数及び出産数1,000人当たり産婦人科医数(平成26(2014)年12月31日現在) (単位:人)

	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	県計	全国
医師数	333.3	273.0	135.7	156.4	204.2	287.8	233.6
内科医	119.2	96.5	60.2	71.8	96.6	105.5	85.5
小児科医	13.5	10.7	10.5	1.7	8.5	11.6	10.0
産婦人科医	14.1	10.0	8.5	6.0	9.5	11.8	10.8

(資料:厚生労働省「平成26(2014)年医師・歯科医師・薬剤師調査」、岡山県毎月流動人口調査(平成26(2014)年10月1日)、総務省「人口推計」(平成26(2014)年10月1日)、厚生労働省「人口動態統計」(平成26(2014)年))

施策の方向性

地域卒卒業医師等の配置や地域医療支援センターによる医師確保に向けた取組等により、県内の医師の診療科偏在の是正について検討します。

論点整理

- ◎ 診療科偏在是正のために、地域卒卒業医師に貢献してもらうのが適切か。
- ◎ 地域卒卒業医師に貢献してもらう場合、卒後何年目からが適切か。
(専門医の資格取得後に地域勤務に就くこととしてはどうか。)
- ◎ 偏在是正の対象となる診療科をどう考えるか。